

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1967
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.60, No.3 (1967. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670301--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19670301--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

# 三田學會雜誌

1967年 3月号

## 論 説

- 「社会主義経済学」の対象と方法(一)……………平野 絢子 1  
 ——「過渡期の理論」について——  
 レオン・ワルラスの  
 「資本形成および信用のモデル」について……………宮尾 尊弘 24  
 ——定常均衡および成長均衡の存在証明——

## 資料・研究ノート

- 工業化と十九世紀のフランス、ドイツ……………渡辺 國廣 64  
 最適消費の理論についてのノート……………川又 邦雄 74

## 書 評

- 大河内一男先生遺稿『労働経済と労働運動』……………飯田 鼎 81  
 記念論文集 第2集  
 P. A. サミュエルソン著『経済学』……………田中 宏 86

## 新刊紹介

60 卷 3 号

昭和四十二年三月十日  
1967年3月13日  
発行所 三田會社  
〒100 東京都千代田区三田一丁目九番三號

昭和四十二年三月十日  
1967年3月13日  
発行所 三田會社  
〒100 東京都千代田区三田一丁目九番三號

三田會社雜誌

昭和四十二年二月号

定価 金二〇〇円(送料別)

# MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 60, No. 2

February, 1967

## CONTENTS

### Articles

- Test of Permanent Income Hypothesis  
 in Relation to the Theory of Household Labor  
 Supply Behavior……………K. Obi 1  
 A Fundamental Approach to the Problems  
 of the Developing Countries……………H. Fukami 20  
 ——Through the Examination of the Recent  
 Development of Economics of Foreign Aid——  
 A Study on Labor Unions after  
 the First World War in Japan……………R. Komatsu 51  
 ——A Case Study of Industrial Relations  
 in Ishikawajima Ship-building Co. (2)——  
 Note and Memoranda  
 Principal Component Analysis  
 for Regionalization Problem……………J. Takahashi 93  
 Book Reviews  
 The Study on History of Japanese  
 Labour Movement, 1966, Tokyo,  
 by S. Omae and M. Ikeda……………K. Iida 107  
 A Theory of National Income,  
 by I. Okuma and F. Hamada……………Y. Torii 112

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial Communications to be sent to  
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai

Keio University,

Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 200 yen

新刊紹介

大河内一男著『日本労働組合物語』	飯田鼎	98
大河内一男先生遺稿『古典経済学の伝統』 記念論文集第3集	飯田鼎	99
宮崎義一著『戦後日本の経済機構』	藤枝省人	101

「社会主義経済学」の対象と方法(一)

——「過渡期の理論」について——

平野 絢子

まえがき

——社会主義経済学は「ルネッサンス」——

一、広義の経済学と古典的命題

二、「社会主義経済学」の生成と対象の再確定

(以下(一)次号、(二)五月号)

まえがき

一九一七年に、地上にはじめて社会主義経済が旧ロシアに実現してから五十年、其後第二次大戦後に数多くあらわれた東欧、中国などの社会主義国にもすでに二十年の年月が流れた。かつて危険な夢想であり、或いはその担い手たるべきプロレタリアートの意識における観念的反映でしかなかった社会主義が、イデオロギーによってではなく、従って単なる反乱(レーニン)、造反(毛沢東)でなく、客観的経済法則によって、今日地上領域の四分の一、全人口の三分の一に実現してしまっていることを疑うことは困難になった。その移行の条件、契機はそれぞれの歴史的、地域的諸条件に規定されて種々多様な様相をとっているが、労農政権が確立し、生産手段は基本的に社会化され、市場機構は計画化の中に変質して、国营企業

「社会主義経済学」の対象と方法(一)